

# オイカワ



<b>分布</b>	北陸・関東地方以西の本州、四国の瀬戸内側、九州の河川中・下流域、および湖沼に広く分布する。 <sup>(1)</sup>
<b>生態</b>	成魚は浅く、開けた場所に多い。Bb 型より下流の平瀬から淵にかけて多い。産卵期は 5 月下旬であり、水深 5～10cm 程度の流れの緩い平瀬に産卵する。 <sup>(1)</sup>
<b>配慮事項</b>	河川改修により、流路を直線化し、川幅を広げ、水深を浅くすると、生息に適している。河川改修後に本種が増えたという事例もある。 <sup>(1)</sup>

(1) 川の生物図典、財団法人 リバーフロント整備センター、1996

# ヤマトイトヒキサギ



区分	宮崎県版レッドリスト: 準絶滅危惧
分布	南日本の太平洋沿岸に分布。 <sup>(1)</sup>
生態	イトヒキサギと混同されていたが、最近新種記載された。イトヒキサギも体高が高いが、本州は目が小さい特徴を持つ。また、全長 40cm 近くになり、本類似種群では、世界最大になる種である。汽水域の河口や入り江で稚魚期に生育し、その後河口を含む周辺に生息する。 <sup>(2)</sup>

(1) 原色日本昆虫図鑑(下)、伊藤修四郎・奥谷禎一・日浦勇、1977

(2) 宮崎県版レッドデータブック 宮崎県の保護上重要な野生生物、宮崎県、2011

# アシシロハゼ



区分	宮崎県版レッドリスト: 準絶滅危惧
分布	北海道、本州、四国、九州に分布する。 <sup>(1)</sup>
生態	内湾や汽水域に周年生息している。ほとんど淡水の場所から海水までに生息しており、塩分濃度の変化に対してかなりの順応性がある。河川では汽水域を中心に分布し、あまり上流へは上がらない。砂底または砂泥底にすみ、雑食性で底生動物や藻類を餌としている。産卵期は5～9月と長い。 <sup>(1)</sup>

(1) 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚、川那部浩哉・水野信彦、1989

# ヒナハゼ



<b>分布</b>	静岡県以西の本州、四国、九州、琉球列島に分布する。 <sup>(1)</sup>
<b>生態</b>	川の下流域や汽水域に生息しているが、あまり多くはない。流れの少ない砂底や砂礫底、または水生植物の茂みや沈木の陰などにすむ。産卵期は、琉球列島では5～7月、四国西南部では7～9月である。貝殻や底の平らな石の裏面に卵を1層に産みつける。 <sup>(1)</sup>

(1) 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚、川那部浩哉・水野信彦、1989